

JR東海と静岡県との対話状況(まとめ)

- 環境保全有識者会議の報告書とりまとめ（令和5年12月）以降、合計67回の対話を実施。
- 協議は着実に進んでおり、河川法や県条例に基づく手続きに関して解決すべき残る課題は明確化されつつある。
- 引き続き、県とJR東海との協議に、国交省も入って、対話を進める。

JR東海と静岡県との対話状況(まとめ) 環境保全有識者会議報告書とりまとめ（令和5年12月7日）以降

年 月	議 題					合計回数 ^{注2)}
	水資源	生物多様性	トンネル発生土・置き場	法・条例手続き ^{注1)}	全般的なこと	
令和5年12月		1	1			2
令和6年1月		1	1			2
令和6年2月	2	2	3			4
令和6年3月	3	4	2	1		6
令和6年4年	9	4	6	2		12
令和6年5月	1	3	2	3		7
令和6年6月	1	7	3	4	1	13
令和6年7月		9	4	1		13
令和6年8月	1	1	4	1	1	8
累 計	17	32	26	12	2	67

注1) 静岡県自然環境保全条例については計3回(5/15,5/24,6/7)、静岡県盛土等の規制に関する条例については計6回(3/13,4/24,4/26,5/21,6/21,7/29)、河川法については計3回(5/22,6/28,8/1)の対話を実施。

注2) 1回の会議で複数の議題を議論しているため、合計回数は一致しない。